

令和7年度 第2回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月3日（木）13時40分から15時25分まで
ただし、14時00分までは授業参観
- 2 開催場所 水窪小学校 会議室
- 3 出席委員 柳田 温、塩崎 正敏、田中 裕彦、金田 和代、高木 罔乃、西岡 小百合
高木 幸代、平澤 文江
- 4 欠席委員 山本 功、牧内 真美、石本 駿輔、守屋 貞慶、丹羽 貴美
- 5 学 校 鈴木 滋雄（水窪小学校長）、米山 哲哉（水窪中学校長）、鈴木 成幸（水窪小教頭）
梅田 研（水窪中教頭）
内山 由紀（CS ディレクター）

6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）

7 傍聴者 なし

8 会議録作成者 CSディレクター 内山 由紀

9 議長の選出

司会から、柳田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

・子供たちの主体性を育むためにできること

11 会議記録

司会の平澤委員から、委員総数13人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回会議録の確認について

水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録の内容について説明があり、確認した。

（2）子供たちの課題について

議長の指示により、水窪小教頭・水窪中教頭から、別紙資料に基づき、児童生徒の主体性を育む取り組みについて報告があった。

（3）グループ協議 「子供たちの主体性を育むために家庭、地域でできること」

【A グループ：塩崎委員、幸代委員、西岡委員、平澤委員、水窪小教頭】

- ・水窪の今の現状だと、生まれた時から子供が少ない関係で、クラス替えもなく、同じ環境で育っていくため、なかなか難しいこともあるのではないかな。
- ・昔の話だが、教員を経験していた先生が子供を見ると、核家族の子供か複合家族の子供か、家庭を知らなくても子供を見ただけで把握できたということがあった。家庭の中での子供の役割、立ち位置があったからではないかな。
- ・家で手伝いをしている子は、社会に出る時もたくましさを感じる。勉強では目立たなくても、家庭科や道徳の授業でぐっと前に出て、違う一面を見ることができる。家の中での役割があるといいのかなと思う。
- ・夏休みも近くなるので、家での手伝いをするといいのではないかな。夏休みだけではなく、日々の生活の中で役割をもって生活していくこともたくましさや主体性につながるのではないかな。

- ・中学校では、年間学習目標シートに取り組んでいるが、学習の目標が明確に具体的になって、親も見ることができ、声掛けにもつながる。いい取り組みで、ありがたい。
- ・小学校の文化委員会の活動で、命の大切さの読み聞かせを行ったという報告があった。今の時代にとてもいい活動ではないか。
- ・合併以前になると思うが、従来水窪町は、健全育成で、学校の先生やいろいろな立場の方に入っただき、子供を取り囲む家庭地域をどういうふうに考えるかということをよくやってきた。学校の中では先生が関わってくれているが、家庭地域の一員としてどういうことに関わりがもてるか、関わりがもてたら良い。

【B グループ：柳田会長、田中委員、園乃委員、金田委員、水窪中教頭】

- ・小学校の畑の活動では、地域サポーターが来てくれている。子供たちが畑に来た時には、地域サポーターの方が事前に草取りをしてくれていて、草を取る前の時点を子供は見えていない。草取りをしてくれていることを子供たちに考えさせられるように、意識できるように声を掛けてもいいのではないか。「ときどき草取りをしてくれると助かるよ」と子供たちに言うのも子供の成長にいいのではないか。
- ・中学校では、縦割りの活動が行われているが、登下校時に危ないところがあると、中学生が小学生に声を掛けている様子から、身に付いているなど感じる。
- ・子ども教室では、中学１年生がこの前まで６年生で遊んでもらっていた側だったが、ボランティアとして来ると低学年の子の面倒を見ていて、成長が見られる。キャンプの時も、雑用的な仕事もこなしてくれて、縦割りの活動が身に付いているのではないか。
- ・老人クラブの輪投げ大会の得点換算を中学生にやってもらうことで、関わりをもつことができる。お茶摘みの手伝いも関わってくるといいと思う。
- ・小学校は、地域サポーターの方に十分なサポートをしていただいている、主体性を重視した活動ができている。中学生は、地域に出てきてもらって、ボランティアをたくさんしてもらえれば主体性が育まれるのではないか。

報告・連絡事項

- ・浜松市教育委員会総務課より、グループ協議での熟議についての感想や研修会で講師の先生が話された居場所の話の紹介があった。
- ・学校支援コーディネーターより、前回の協議会で１年生の登下校のサポートの話があったが、その進捗状況について報告があった。
- ・水窪小教頭より、協議会の内容を小中学校それぞれ学校だよりやブログでお知らせしていきたいという話があった。また、今回は、１０月１６日（木）午後２時２０分から水窪中学校で開催されるが、第３回の協議会では、任期の継続等の確認を行わせていただきたい旨の話があった。
- ・任期の話が前回から出ている。再任はできないと思うが、以前委員をやっていた方がまた委員をやることはできるのか。（平澤委員）

→２期６年までになっているが、その間３年空けば、また委員になることができる。（教育総務課）